

令和7年度

肢体不自由教育部門

高等部

第2学年

②学習グループ

年間指導計画

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部		高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名		国語・数学			学習グループ名	高②
目標・ねらい		(1) 物語を通して、見たり聞いたり触る活動をすることで、興味・関心の幅を広げる。 (2) 言葉や数の基本的な力を身に付ける。 (3) 提示された教材に意識を向けながら、感情を表現する。				
担当教職員 *学校介護職員		梶沢 法男 石田 有香 加藤 宏大 佐藤 やよい 和田 菜摘 *宇都宮 雅彦 *永池 秀行 *西久保 千枝子				
年間授業時数		210 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）			指導上の留意点及び工夫
4	・順番の学習 ・身近な数字 ・本の読み聞かせ ↳季節の絵本で夏を感じよう	30	○数について、絵本や具体物を用いて体験を通じて知る。 ◆身近な数字に関心をもつ。			・生徒に合った環境、姿勢位置および提示の位置に配慮する。 ・抑揚をつけて読み聞かせし、場面をイメージするような教材を使用する。
5			○絵本・物語を見る、聞く。 ◆物語の一場面を実際に体験し、関心・理解を深める。 ◆物語の世界観を感じ、感じた気持ちを自分なりに表現する。 ◆モニター内の登場人物や絵に注視したり、追視したりして物語を聞くことができる。			
6						
7						
9	・順番の学習 ・身近な数字 ・本の読み聞かせ ↳季節の絵本で秋冬を感じよう ・個別課題学習	45	○絵本・物語を見る、聞く。 ◆モニター内の登場人物や絵に気付いたり、注視したり、追視したりして物語を聞くことができる。 ◆物語の一場面を実際に体験し、理解を深めることができる。			・次の取り組みへの期待感をもてるように、言葉かけ、働きかけを教職員間で共通する。 ・授業の流れを一定にし、見通しをもてるようにする。 ・視覚、聴覚、触覚等、保有する感覚に働きかけることができるような教材や題材を使用する。 ・生徒の反応を見逃さずに受け止め、気持ちを共感し、フィードバックを行う。 ・個別の課題を設定し、実態に合わせて身近な数字や物の名称に触れる。
10			○延滞学習、形の弁別、ICT機器等を用いてコミュニケーションを取る。 ◆個別の課題に集中して取り組む。 ◆提示された課題に対し、注視したり、追視したり、関心をもって取り組むことができる。			
11						
12						
1	・書初め ・身近な数字	10	○書きたい文字を選び、書字を行う。 ◆筆の感触や墨の匂いを感じ、毛筆での書字に興味をもって活動する。			
2	・本の読み聞かせ ↳季節の絵本で春を感じよう ・ありがとうを伝えよう	20	○絵本・物語を見る、聞く。 ◆モニター内の登場人物や絵に気付いたり、注視したり、追視したりして物語を聞くことができる。物語の一場面を実際に体験し、理解を深めることができる。 ○一年間の感謝の気持ちをメッセージカードにして作成する。 ◆他者とのコミュニケーションに興味をもつことができる。			
3						
通年	①課題別学習 ②読書活動	105	○個々に応じた課題別学習 ○読書活動			①個別指導計画に記載 ②週に数回、図書を借りて読む。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	音楽			学習グループ名	高②
目標・ねらい	(1) 音や音楽に興味をもち、音楽表現に必要な身体表現、楽器、歌唱につながる力を身に付ける。 (2) 多様な音楽に触れ、音楽に気付き、興味・関心をもって聴くことができる。 (3) 教職員と一緒に音楽活動をする楽しさを感じ、音楽経験を生かし生活の中で音楽を楽しむ態度を培う。				
担当教職員 *学校介護職員	石田有香、加藤宏大、樺沢法男、佐藤やよい、和田菜摘 *宇都宮雅彦、*永池秀行、*西久保千枝子				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	音を楽しもう	3	○身体表現、歌唱、鑑賞 ◆新しい集団に慣れ、一緒にダンスや歌唱、鑑賞を通して表現する楽しさを味わう。		・生徒の表出を促し、表出を待つ。 ・興味・関心がもてるよう、教員が模範唱や模範奏を行う。
5	楽器を鳴らそう	4	○打楽器演奏、鑑賞 ◆音の重なりを感じ、自ら楽器を鳴らす楽しさを感じ取る。 ◆季節の歌を知り、春を感じる取る。		・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。
6	世界の音楽	7	○楽器演奏、身体表現、鑑賞 ◆様々なジャンルの曲を受け止める。 ◆民族衣装や楽器に触れ、手本に従い身体を動かす。 ◆世界の挨拶を知り、音楽合わせて発声する。		・様々な国の特徴的な映像や衣装を示し、雰囲気味わえるようにする。 ・「おはよう」「ありがとう」など、生徒の身近な言葉を歌詞に置き換える。
7					
9	日本の音楽	7	○楽器演奏、身体表現、鑑賞 ◆様々なジャンルの曲を受け止める。 ◆民族衣装や楽器に触れ、手本に従い身体を動かす。 ◆合図を見て演奏する。		・祭りの音楽や掛け声、音楽を聴き、雰囲気が味わえるようにする。 ・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。
10					
11	テレビCMを演奏しよう	7	○楽器演奏、歌唱、身体表現、鑑賞 ◆様々な曲想の歌を受け止める。 ◆音楽やリズムの変化を受け止め、表現する。 ◆テレビから聴こえてくる音楽に気付く。 ◆音楽や光、楽器を通して好みの表現方法を見付ける。		・生活の中で聴こえてくるテレビCMを使用する。 ・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。
12					
1	日本の伝統音楽	3	○楽器演奏 ◆日本の伝統音楽に親しむ。 ◆お箏に興味をもち、自助具を使って音を鳴らす。		・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。 ・演奏するタイミングを視覚的に表示する。
2	季節を表現しよう	4	○楽器演奏、歌唱、身体表現、鑑賞 ◆様々な曲想の歌を受け止める。 ◆音楽やリズムの変化を受け止め、表現する。 ◆簡単なルールに従い、身体を動かす。 ◆季節の情景を音楽や光、楽器を通して味わう。		・興味・関心がもてるよう、教員が模範唱や模範奏を行う。 ・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。
3					
通年	始まりの歌 終わりの歌		○歌、チャイム ◆授業の始まりと終わりを意識できるようにする。		・1年を通して継続して取り組み、意識できるようにする。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	美術			学習グループ名	高②
目標・ねらい	(1) 表現方法に応じて道具を選んで使用する。 (2) 様々な素材に触れ、素材の変化を感じながら自分らしい作品を作る。 (3) 様々な表現方法や素材に触れ、作ることを楽しんで活動する。				
担当教職員 *学校介護職員	石田有香、加藤宏大、樫沢法男、佐藤やよい、和田菜摘 *宇都宮雅彦、*永池秀行、*西久保千枝子				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4 5	オリエンテーション 平面作品制作 ポスター制作	12	○絵画、ポスターを鑑賞する。 ○アクリル絵の具やパステル、色鉛筆、マーカーなど様々な画材を使ったモダンアートを制作する。 ◆混色や色面構成を楽しむ。		・手の操作性に合わせた用具を工夫する。 ・細かい部品の異色に注意する。 ・様々な色や感触に触れられるように課題を設定する。 ・鑑賞や振り返りの時間を十分に設けて、活動を評価する。
6 7	立体作品制作	14	○彫刻作品を鑑賞する。 ○紙粘土を使った彫刻作品の制作を行う。 ◆素材に触れて変化する形を感じとる。 ◆積極的に作品に関わって制作を楽しむ。		
9 10 11	工芸作品制作	22	○日本の伝統工芸を鑑賞する。 ○日常で使用する工芸品の制作を行う。 ◆形の変化を楽しんで制作する。 ◆様々な素材の感触を体験する。		
12 1	デザイン作品制作	10	○水墨画を鑑賞する。 ○墨絵の制作を行う。 ○デザインの制作を行う。 ◆墨の香りや和紙の素材を感じとる。 ◆手を積極的に動かして、変化する形に注目する。		
2 3	卒業展示用作品制作	10	○今までの共同制作を鑑賞する。 ○共同制作を行う。 ◆グループで協力して取り組む。		
通年	鑑賞		○友達や自分の作品を鑑賞する。 ◆作品から感じたことを表情や発声で表す。		

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	保健体育		学習グループ名		高②
目標・ねらい	(1) 様々な運動経験を通じて、回転や揺れ等の前庭感覚に働きかける活動を行い、眼球運動やボディイメージの向上を図り、姿勢保持の力を高める。 (2) 自発的、他動的を含め、運動を多く行うことで随意的な動きをより多く引き出す。 (3) 自身の動きや表出のフィードバックを得ることで達成感を感じ、自発的に身体活動を行う意識を高める。				
担当教職員 *学校介護職員	石田有香、加藤宏大、樫沢法男、佐藤やよい、和田菜摘 *宇都宮雅彦、*永池秀行、*西久保千枝子				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
4	体づくり運動 リトミック	3	○柔軟ストレッチ運動を行う。 ◆身体の柔軟性について理解し、自分の身体の使い方を知る。		様々な動きのストレッチを行い、自身の体に関心を向けられるようにする。
5	陸上競技 体育祭種目練習	7	○体育祭に向けて競技のルールを理解したり周囲と協力して競技を行う。 ◆自己記録に挑戦したり、仲間と協力して競技に参加したりすることができる。		体育祭に向けての見通しがもてるようにテーマソングを用いたり、回数を重ねたりする。
6					
7	水泳	6	○リラクゼーションや浮力を活用した活動を行う。 ◆浮力を生かした活動を通してリラクゼーションや健康の保持増進を図る。		安全に留意し、浮き具などを活用しながら行う。
8					
9					
10	体づくり運動 「マット運動」	4	○傾斜を利用した回転や滑り降り、左右の傾き運動、エアートランポリンでの上下運動、回転ボード等、前庭感覚や固有覚を刺激する運動に取り組む。 ◆揺れや傾きに対して、自発的にバランスをとるような姿勢の保持や変換をすることができる。		無理な動きが無いように、生徒の関節の可動域や緊張具合を把握し、安全に留意して行う。
	球技「ボッチャ」	7	○ボッチャボールを直接投げたり、傾斜台やランプを使用したりし、自身の得意な投球方法を見付ける。 ◆目的（ボール）に注目し、目と手を協応させて意図的に行動（投球）を起こすことができる。 ◆自身の行動（投球）と周囲の変化（賞賛や笛の合図）のフィードバックにより因果関係が分かる。		自身の順番を意識したり、動かす部位を意識できるように言葉掛けを行う。
12					
1	球技「ハンドサッカー」	8	○ポイントゲッターやスペシャルシューターのポジション練習 ◆スペシャルシューターやポイントゲッターの課題が分かり、シュートを決めることができる。		互いに応援し合う雰囲気を作る。
2					
3					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名		総合的な探究の時間			学習グループ名	高②
目標・ねらい		(1) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や教員と協力して行う。 (2) 繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもつ。様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばす。 (3) コミュニケーション・スキルや地域での暮らし方について学ぶ。				
担当教職員 *学校介護職員		石田有香、加藤宏大、樫沢法男、佐藤やよい、和田菜摘、高橋奈穂美、長嶺亜矢子、所竜之介、梅沢蓉子 *宇都宮雅彦、*永池秀行、*西久保千枝子				
年間授業時数		43 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい			指導上の工夫
4	新しい学年 新入生歓迎会	3	○高等部の1年間の活動に見通しをもって考え、学年目標や係を決める。 ◆高校部の生活を知り、学年目標や係活動を決める。			・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもてるようにする。 ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
5	学期の行事の確認 体育祭事前事後学習	8	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○体育祭の種目を知り、友達と発表し合う。 ○体育祭で身に付けた得意技を披露する。 ◆体育祭を通して、友達と協力する力を養う。			
6						
7	学期のまとめ	3	○各活動の写真や動画を見て1学期を振り返る。 ◆静かに写真やスライドの鑑賞ができる。			
9	学期の行事確認 墨東祭事前学習 修学旅行事前事後学習	13	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○場所の写真やスライドを見て、行く場所（地域）について考える。 ◆修学旅行に行く場所を知り、地域について考え、できる活動を行う。 ○修学旅行の事前学習で行ったことを生かして墨東祭準備を行う。 ◆教員や友達と協力して活動する。			
10						
11						
12	墨東祭事後学習 学期のまとめ	4	○各活動の写真や動画を見て1学期を振り返る。 ◆静かに写真やスライドの鑑賞ができる。			
1	進路学習	4	○墨の香りを感じながら、書初めを行う。 ◆日本固有の文化を体験し、活動に興味・関心を向ける。			・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や教員と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもてるようにする。 ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
2	主権者教育	4	○模擬選挙を行い、仕組みを学ぶ。 ◆選挙を通して社会を知る。			
3	進路について	4	○ICT機器などを使って進路について調べる。 ◆卒業後の進路について考える。			
通年						

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	特別活動			学習グループ名	高②
目標・ねらい	(1) 写真や資料等視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 (2) 全員が意欲的に参加できるように、道具や活動のルールを工夫する。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。				
担当教職員 *学校介護職員	石田有香、加藤宏大、樫沢法男、佐藤やよい、和田菜摘、高橋奈穂美、長嶺亜矢子、所竜之介、梅沢蓉子 *宇都宮雅彦、*永池秀行、*西久保千枝子				
年間授業時数	36 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	高等部の生活について	3	○自己紹介、一年間の予定確認、学年目標決め、係活動決めなど。 ◆高等部の一年間の生活を知る。		一年間の流れを知り、見通しをもてるようにする。
5	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。		意図的にチームを組み、生徒同士のやり取りが生まれるようにする。
6	体育祭に向けて	4	○体育祭の競技や応援練習など。 ◆体育祭に向けて期待を高める。		応援グッズを作成し、練習の段階から本番の雰囲気味わえるようにする。
7	修学旅行事前・事後学習	10	○係ごとに事前・事後学習を行う。 ○内容に関する話し合い、準備、練習など。 ◆行事への期待感を高め、協力して一つのものを作り上げる。		パンフレット、しおり等を活用し、見通しがもてるようにする。
9					係ごとに事前学習や調べ学習を行い、理解を深めていく。
10					写真や映像などを活用して、具体的に振り返ることができるようにする。
11	墨東祭に向けて	4	○全体練習、発表内容についての話し合い・分担など。 ◆役割をもって、仲間と協力する。		自分の役割を意識できるように、準備の係活動を設定する。
12	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。		意図的にチームを組み、生徒同士のやり取りが生まれるようにする。
1	主権者教育	3	○模擬選挙を行う。 ◆生徒会選挙を通して選挙を知る。		写真や演説の音声を利用して、「選ぶ」「投票する」ことを主体的に行えるようにする。
2	伝統文化に触れよう	3	○調べ学習を行う。 ◆日本独自の伝統技術を体験する。		教材だけでなく、衣装や背景を活用し、伝統文化の雰囲気を感じられるようにする。
3	1年間のまとめ	3	○1年間の学校生活を振り返る。 ◆スライドなどを見て一年間を振り返る。		写真や映像などを活用して、具体的に振り返ることができるようにする。

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部		高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名		自立活動			学習グループ名	高②学習グループ
目標・ねらい		(1) いろいろな姿勢をとり、変形や拘縮の進行を可能な限り抑制する。 (2) 触覚防衛反応を軽減し、手指の探索活動を促し、認知理解の力を高める。 (3) 苦手な動きを補う力を身に付けたり、受け止めたりする。				
担当教職員 *学校介護職員		梶沢 法男 石田 有香 佐藤 やよい 和田 菜摘 加藤 宏大 *宇都宮 雅彦 *永池 秀行 *西久保 千枝子				
年間授業時数		429 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名		指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
通年	個別の取り組み ・健康の保持 ・心理的な安定 ・人間関係の形成 ・環境の把握 ・身体の動き ・コミュニケーション		429	○各部のストレッチ ○肘立て、膝立て等支持姿勢の保持 ○立位、ウォーカー歩行、バランスボールでの座位など ◆身体機能の維持・向上 ○圧迫タッチ、スライドタッチなど ◆触覚防衛反応の軽減 ○ハンドマッサージ など ◆手指の探索活動・目と手の協応動作の向上 ○スイッチ教材など ◆因果関係理解、永続性理解の向上 ○リラクゼーション、スヌーズレン ◆心理的な安定		・自立活動部教員、外部専門家との連携し、身体面・認知面の実態について共通理解を図り、複数の教職員が個々の課題に対応できるようにする。 ・個別の認知課題を行う際には、パーテーションや衝立を活用し、視覚刺激などの軽減に配慮する。

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部		高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名		日常生活の指導			学習グループ名	高②学習グループ
目標・ねらい		(1) 個々の課題に応じた、日常生活に必要な力を身に付ける。 (2) 様々な人と関わり、要求や意思表示を深め、より多くの人とのコミュニケーションの力へつなげる。 (3) 食事のおいしさを感じながら、安全に食事をすることができる。				
担当教職員 *学校介護職員		柊沢 法男 石田 有香 加藤 宏大 佐藤 やよい 和田 菜摘 *宇都宮 雅彦 *永池 秀行 *西久保 千枝子				
年間授業時数		73 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名		指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
通年	日常生活の指導 手洗い、水分摂取、トイレ、 挨拶、摂食、歯磨き、係活動 等		73	○挨拶をしよう ●個に応じた方法で、挨拶をすることができる。 ○摂食・水分摂取 ●介助を受け入れ、安全に水分、食事をする。 ○歯磨き ●介助への協力動作の力を培う。 ○係活動 ●係活動を行う中で、学習課題を克服していく。		・VOCAなどを取り入れ、生徒の自発的な挨拶を促す。 ・食具、食形態、姿勢をよく確認しながら、安全に行うようにする。 ・姿勢や口の中に残っているものに気を付ける。 ・一人一人の生徒の課題の克服に適した係活動を設定し、取り組んでいく。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	生活単元学習			学習グループ名	高②
目標・ねらい	(1) 季節の行事や食べ物、素材に触れる活動を通して文化や生活への興味関心を広げる。 (2) 挨拶や気持ち、要求などを、表情や発声、身体の動き等、自分なりの方法で表現する。 (3) 身近な友達や教職員との活動の楽しさを味わい、喜びを共感する。				
担当教職員 *学校介護職員	梶沢 法男 加藤 宏				
年間授業時数	141 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	季節を感じよう「春・夏」 ①予定表を作ろう(前期) ②春を探そう ③草花を育てよう ④清掃活動 ⑤買い物しよう	70	○自己紹介、前期の予定表作り ◆予定確認を通して、新しい学部での生活に見通しをもつ。		様々な感触の素材や紙を切る・ちぎる感触を感じながら作成する。
5			○戸外活動 ○体育祭応援練習 ◆戸外活動を行い、風や日差しの心地よさを感じ、春の草花の観察を行ない、季節を感じる。		応援練習などで当日までの期待感を高める。シャボン玉等を用いて視覚的にも風を感じられるようにする。
6			○草花・野菜を育てる。 ◆植物を育てる活動を通して、自然を愛する心情を養い、食に対する理解を深める。		土の感触や水の心地よさを感じられるようにする。スイッチ等、ICT機器を用いて植物の世話をする。
7			○清掃活動 ◆自分の役割を意識し、役に立つ喜びを感じられるようにし、進路学習へつなげる。		役割を提示、分担する。きれいになったところが視覚的にわかるようにする。
9			○買い物・植物の収穫と加工 ◆植物を収穫し、成長の喜びを感じる。 ◆植物の加工に必要な材料を調べ実際に購入して社会経験を積む。		土の感触や水の心地よさを感じられるようにする。社会体験の練習を繰り返し行い、見通しがもてるようにする。
10	季節を感じよう(秋・冬) ①予定表を作ろう(後期) ②草花を育てよう ③社会見学事前事後学習 ④ゲームを楽しもう ⑤冬を楽しもう ④年末年始の過ごし方 ⑤外国語に親しもう ⑦1年間のまとめ	71	○後期の予定表を作る ○植物の収穫と加工 ◆予定確認を通して、後期の生活に見通しをもつ。 ◆植物を収穫し、成長の喜びを感じる。		前期の活動を振り返り、後期の予定を確認することで学年の折り返しを意識できるようにする。
11			○社会見学事前・事後学習 ◆公共の施設を、見通しをもって利用できるようになる。		模擬体験を繰り返し、見通しがもてるようにする。
12			○レクリエーション ○買い物学習・年賀状 ◆戸外活動や季節の行事にちなんだゲームを友達と一緒に楽しむ。 ◆年賀状の購入や作成、ポスト投函をし社会経験を積む。		友達との協力や競い合いでお互いを意識できるような競技の設定を行う。補助具や自具を用いて自分の力でできるよう支援する。
1			○大掃除・正月遊び ◆伝統的行事や遊びを通して、日本の文化を知る。掃除をすることで他者の役に立つ経験をし、集団の一員としての役割を意識する。		大掃除や年始の挨拶などで学部の交流を深める。役割を提示、分担する。きれいになったところが視覚的にわかるようにする。
2			○ALTの活動 ○バスボム作り・手浴足浴 ◆外国の行事や遊び、歌などを通して、外国の文化に親しむ。 ◆お湯の温かさやバスボムの香りを感じてリラックスできる。		転倒ややけど、バスボム使用後はお湯ですすぐ、湯冷めしないようにするなど安全衛生面に留意する。
3			○振り返り・感謝の活動 ◆1年間の学習を振り返り、お世話になった人への感謝や、卒業生へのプレゼント作りを通し、集団の一員としてお互いを意識する。		ICT機器を活用して、学習の振り返りやコミュニケーションをサポートする。